

三年ぶりの花火 水窪の夜空を照らす



高根城より

九月十七日の夜、三年ぶりに打ち上げられる花火を見るために高根城に登りました。頂上に着いてから花火が上がるまで三十分ほど時間がありました。その間に、街から響くお囃子の音を乗せた秋らしい風をゆっくり感じる事ができました。

街の明かりを下にして、視線に近い高さで花開く高根城から眺める花火は見事なものでした。例年ならば、まつりの熱気にもまねながら、大勢の人と一緒に街から見上げるのだろうと思いつつ、一人暗闇から眺める花火を静かに楽しみました。

翌日十八日は、お囃子の行列（ながし）が街を行く様子が見られました。規模を縮小してのまつりではありますが、任期の最終年にこの雰囲気を感じることができて良かったです。



本町のお囃子

高根城



城の雰囲気を楽しみながら一息

山の上に凜と立つ井楼櫓（せいろうやぐら）が存在感を放つ高根城。そのたたずまいには、常に地域の人々の暮らしを見守ってくれているような安心感があります。

高根城は、地元の領主であった奥山氏を城主として十五世紀前半に築かれた城です。廃城となって久しく、建物は消失してしまいましたが、平成五年から平成十一年にかけて発掘調査が行われ、地域の有志の方々の尽力もあり、城内の建物が復元されました。

三つある登り口はいずれも水窪の街から車で五〜十分程度。散策道はスギ・ヒノキ林の中を十五〜三十分程度歩く適度な運動ができる歩道です。それぞれのルートが循環できる作りになっていて、城の見学だけでなくハイキングも楽しむことができます。

山の頂上に位置する高根城は、水窪の街が一望できる絶好のビュースポットになっています。家族、友人など親しい人を誘って気軽に水窪を満喫できる絶好の場所です。



左：
散策路
杉の緑の中を歩く

